

民間救急（患者等搬送事業者）の利用について

【調査の目的】

本県では、各消防本部に配備された196台の救急車（消防救急車（※1））で、年間約24万件の救急搬送を行っています。搬送件数は年々増加しており、高齢化の進展とともに、救急医療の需要はさらに高まっていくものと予想され、救急医療及び救急車の適正利用が課題となっています。

上記、本県の年間約24万件の救急搬送のうち、約4万3千件が軽症（入院を必要としないもの）であり、このうち、緊急性の無い方の搬送も含まれていると考えられます。

救急隊の負担軽減のため、緊急性の無い方の搬送については、消防救急車ではなく、病院救急車（※2）や民間救急（患者等搬送事業者）（※3）の活用が期待されています。

本調査では、民間救急（患者等搬送事業者）の認知度等について、お伺いします。

（保健医療介護部医療指導課）

※1 消防救急車とは

消防本部が保有する救急車で、119番通報により、緊急走行で救急現場に出動する車両です。以下の「病院救急車」及び「民間救急（患者等搬送事業者）」と明確に区別するため、「消防救急車」と呼称します。

※2 病院救急車とは

医療機関が保有する救急車で、消防救急車と同様に赤色警告等を点灯し、サイレンを鳴らすことで、緊急走行が可能な車両です。

※3 民間救急（患者等搬送事業者）とは

事業として有償で患者の搬送を行う旨を消防機関が認定した民間事業者（旅客運送事業者等）を「患者等搬送事業者」と言い、「民間救急」等と呼称されます。

民間救急（患者等搬送事業者）は、運行する車両に必要な資器材を積載するとともに、消防機関が行う講習を修了した者や救急救命士が乗務するなど、消防庁通知に基づく各種基準を満たしています。

民間救急（患者等搬送事業者）の車両には、赤色警告灯やサイレンが無いため、緊急走行はできませんが、ストレッチャーや車いすのまま乗車することができ、自力での移動が難しい高齢者や身体障がい者、傷病者等の医療機関の入退院、通院及び転院並びに社会福祉施設への送迎等、緊急性の無い傷病者の搬送を担うことが期待されています。

問1 あなたは、民間救急（患者等搬送事業者）について知っていますか。

次の中から【1つだけ】選んでください。

選択肢	回答数	割合
1 知っている	49	13.6 %
2 聞いたことがあるが、詳細は知らない	143	39.7 %
3 知らない、聞いたことがない	168	46.7 %
計	360	100.0 %

問2 民間救急（患者等搬送事業者）について、自身や家族が利用したことはありますか。次の中から【1つだけ】選んでください。

選択肢	回答数	割合
1 利用したことがある	11	3.1 %
2 利用したことがない	333	92.5 %
3 分からない	16	4.4 %
計	360	100.0 %

問3 自身や家族が、ストレッチャー（車輪付き担架）や車いすのまま、医療機関の入退院、通院及び転院を行う場合、どのような移動手段を希望しますか。

次の中から【1つだけ】選んでください。

選択肢	回答数	割合
1 消防救急車	65	18.1 %
2 病院救急車	59	16.4 %
3 民間救急（患者等搬送事業者）	27	7.5 %
4 医療機関の指示・助言による方法	158	43.9 %
5 分からない	30	8.3 %
6 その他（次の設問で具体的に入力してください）	21	5.8 %
計	360	100.0 %

問3-2 問3で「6」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・車いすなら大きいタクシー ・自家用車 ・自家用車で移動。車椅子は折りたたんで運搬。乗車時は2人以上で抱えて乗せる。 ・車いすでの入退院なら対応しているタクシーなど。ストレッチャーでの入院は消防あるいは病院救急車、退院は民間救急車など。 ・4 医療機関の指示、助言による方法に含まれるかもしれませんが、タクシー会社等で車いすのまま乗車できる場所を探したいと思います。 ・選択肢のなかで敢えて選ぶなら4であろうが、どのような選択肢があるかあまりよく分からない。 ・車椅子の場合は介護用タクシーを利用 ・介護タクシー ・緊急性がない場合には民間救急を検討すると思います。 ・重要になってくるのは費用面だと思うので、そこがクリアできなければ、自力移動、もしくは施設に相談すると思います。 ・移動のリスクにもよるが、介護タクシーや自分の車などで行けるのならば、そのようにする。 ・緊急時、安心、安全に運んでくれたらいい。 ・タクシー会社のストレッチャーや車椅子対応の介護タクシー ・ストレッチャー（車輪付き担架）や車いすでは、希望が違ってきます。 ・また、入退院、通院でも希望が異なります。

- ・車椅子利用の場合 家族の場合、入院は、1から4から選択
- ・退院は、自家用車にて対応。
- ・消防救急車は、使うべきでないので使わない。民間救急は、有料なので使えない。だから、なんとか、自家用車を使うと思う。
- ・緊急の程度により移動手段は変わると思います
- ・タクシー
- ・急な発病の場合はまずは1へ連絡する。時間の余裕があれば2, 3, 4, を検討する。転院等の場合は4, とそれぞれの場合で判断する。
- ・救急車でサイレンを鳴らして来られるのはご近所に知られてしまうので避けたい。緊急の場合にはそんなことも言ってもらえないとは思いますが出来ることなら自家用車で移動したい。民間救急はどのくらい普及しているのかわからないしどこに連絡したらいいのかわからない。
- ・無事着けば何でもいい
- ・費用がかからないなら、大幅な通院時間がかからないものなら何でもよい。
- ・以前祖父を医療タクシーで搬送した際、ものすごく手間だったのと費用がかかったため。
- ・緊急度合いにより移動手段が変わるので一概には何を利用するかは決めれない。

問4 自身や家族が、消防救急車を利用（119番通報）したことがありますか。
次の中から【1つだけ】選んでください。

選択肢	回答数	割合
1 利用したことがある	225	62.5 %
2 利用したことがない	135	37.5 %
計	360	100.0 %

問5 あなたは、「救急救命士」について知っていますか。
次の中から【1つだけ】選んでください。

選択肢	回答数	割合
1 知っている	226	62.8 %
2 聞いたことがあるが、詳細は知らない	127	35.3 %
3 知らない、聞いたことがない	7	1.9 %
計	360	100.0 %

問6 あなたは、県が実施する救急電話相談（#7119）について知っていますか。
次の中から【1つだけ】選んでください。

選択肢	回答数	割合
1 知っており、利用したことがある	43	11.9 %
2 知っているが、利用したことはない	130	36.1 %
3 知らない	187	51.9 %
計	360	100.0 %

問6-2 (問6で「2」を選択された方にお尋ねします。)

救急電話相談窓口(＃7119)を利用されなかった理由は何ですか。

次の中から最も当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

選択肢	回答数	割合
1 急な病気やケガに遭うことがなかったため (利用するような機会がなかった)	84	64.6 %
2 家族や知人への相談を優先したため (家族や知人に相談して判断した)	4	3.1 %
3 かかりつけ医への相談を優先したため (かかりつけの病院に相談して判断した)	4	3.1 %
4 インターネットなどで調べることを優先したため (自分で調べて判断した)	7	5.4 %
5 その時は利用することを思いつかなかったため (思いつけば相談していた)	19	14.6 %
6 相談したかったが電話番号が分からなかったため (電話番号を忘れていた)	2	1.5 %
7 相談したり調べたりしなくても自分で判断できる 症状であったため	8	6.2 %
8 その他(次の設問で具体的に入力してください)	1	0.8 %
※ 未回答	1	0.8 %
計	130	100.0 %

問6-3 問6-2で「8」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

我が家の隣は消防署のため電話より直接相談したほうが早いため隣に相談に行く

問7 民間救急(患者等搬送事業者)について、冒頭の説明やこれまでの設問を通じて感じたことなど、幅広くご意見をお聞かせください。

※別添のとおり

性別	年代	地区	問7
女性	40～49歳	筑豊地区	身近に感じたことがなく救急との違いがわからない。また使用方法など詳細が全くわからない。
女性	70歳以上	福岡地区	なんとなくあまり信用できない気がする
男性	20～29歳	筑後地区	使うことは今のところないのでまだよくわからない。
女性	50～59歳	福岡地区	わかっていてもなかなか利用しないのが実情だと思う。 もっと回りの人にこういうのがあると言うことをわかってもらわないといけないと思う
男性	30～39歳	福岡地区	民間救急は全く知りませんでした。 有償とはいえ、広く周知されることは救急医療にかかわる方々の負担を減らすために必要だと思います。
男性	70歳以上	福岡地区	コロナ禍での民間救急の利用はおのずと増えてきているが、そもそも現状では消防救急や民間救急があまりにもコロナ感染者が多いために対応できないためである。今から政府、自治体は民間救急のあり方がどうあるべきかの検討、対応をすべきである。
男性	50～59歳	筑豊地区	民間救急車に付いて、このアンカーとにて初めて知りましたが、飯塚市（私が居住の地域）でも利用されていますか？見たことがありません
男性	50～59歳	福岡地区	民間救急に関して、広く宣伝を行わないといけないと感じました。値段や利用距離など、細かく情報を開示しなければなりません。また、福岡市内にいくつの民間救急会社があるのかも知りたいです。自分が利用する場合、近くにあるのかもわかりません。福岡市が広報活動のお手伝いを行うべきです。
女性	20～29歳	福岡地区	学校でも消防救急についてしか習わないし、知らなかったが救急車にも用途や種類別の搬送方法があり、これで消防救急の負担が大分減るなら、すごく良い事業だと思う。
女性	60～69歳	北九州地区	民間救急は必要ですが、もっと認知度を上げる必要があるとおもいます。 連絡先や料金が不透明
女性	50～59歳	福岡地区	重要な情報だと思うので、告知や再教育などもご検討ください
男性	40～49歳	北九州地区	確かに緊急性の無いものが多い気がするので、民間及び、有料と言うのも考える必要はあると思う。
女性	60～69歳	北九州地区	タクシーがわりに救急車を使う人の話しは聞いたことがあります。 そういう方は問題外ですが、例えば命が危ないわけではないけれど、大怪我をして歩けないとか、お年寄りや運ぶに運べない方の利用は許されてほしいなと思いました。 消防士さん達が大変なのはとてもよくわかります。 安易に使うのは絶対にやめるべきだと思います。 あと、救急車でいった場合とそうでない場合の病院の対応も考えてほしいです。 知人の家族が具合悪くなってタクシーで救急外来にかかったらすごく待たされて、亡くなってしまいました。 救急車で行ってたら助かったかもと悔やんでいました。
男性	60～69歳	筑後地区	へき地に住んでいるので民間救急は難しいと思います。消防署にお願いしたいですね。
女性	30～39歳	福岡地区	民間救急が普及していないのは勿体ないと思います。 救急の種類に応じて、車の柄を変えとか工夫をしたり、国民に周知するよう宣伝してみたいかでしょうか。
男性	30～39歳	筑後地区	消防救急車を呼ぶべきか、判断に迷うケースは多いと思う。民間救急がそういう時の受け皿になればいいと思うが、有償となると消防救急車を選ぶ人が多いのでは。消防救急車、病院救急車も有償としてよいのではないだろうか。
男性	30～39歳	福岡地区	必要な仕組みだと感じますが、それをやるにあたっての必要なものが理解できていません。 民間企業の協力？マンパワー不足？そもそも民間がなくても回る仕組み？ など、どこかだけが得をする仕組みではなく、皆が安心できる仕組みができれば良いと感じます。 月並みな表現で申し訳ありません。
女性	40～49歳	福岡地区	もっと幅広く市民に民間救急の用途や内容について周知させておくべきだと思った。
男性	20～29歳	福岡地区	周知されると良いのかもしれないが緊急となると119をしてしまうとおもう。 認知されるまでに時間はかかると思う。
男性	50～59歳	筑豊地区	価格が高そうで不安。医療費と同じ制度の中であれば使いやすさが100%自己負担なイメージがある。
男性	50～59歳	筑後地区	もっとテレビCMやラジオや新聞等で知らせるようにすれば利用者が増えるのでは？
女性	20～29歳	筑後地区	民間救急という言葉すら知らなかった。軽傷の方が救急車ではなく、民間救急という選択肢もできるよう、もっと認知が広まればいいと思う
女性	30～39歳	福岡地区	あまり広く知られてない
男性	70歳以上	北九州地区	79歳一人暮らしですが、四年前に食道がんの手術をし、日頃から、いろいろな不安を抱えています。地域の方々の支えや、週一度の介護ヘルパーさんにも助かります。コロナ禍のご時世・・・何かあれば、119へ連絡せねばと思ってます。24時間対応の緊急連絡ボタンも準備しています。これに加え、民間救急があれば大変心強いです。
女性	70歳以上	福岡地区	日頃からしっかりと把握して勉強しておかないといけないと感じました。
女性	50～59歳	筑後地区	消防救急車が無料であれば、民間救急車の普及は難しいと思います。
女性	20～29歳	北九州地区	あまりよくわからないのでYouTubeとかで詳しく動画説明があったら嬉しいです
男性	60～69歳	福岡地区	消防救急や病院救急と同じレベルで活用出来るのであれば、民間救急も視野に入ってくると思います。受け入れ窓口が多いことにはいいとは思いますが、質の維持には大いに注意すべきです。
男性	60～69歳	筑後地区	軽症なのに安易に救急車を呼んで、ほんとに重症で困っている方や維持費に悪影響が出ると思います。ここは、救急車を利用する病気や怪我の程度の基準を設けて、後日、救急利用の料金を無料から有料の段階で判定し、有料の場合は請求することにはどうでしょうか？安易な利用に歯止めをかける必要がありますね。
男性	60～69歳	福岡地区	民間救急の存在を知らなかった。これはもっと広報すべき重要なことである。
女性	30～39歳	北九州地区	用語説明を読んでもイメージが湧かないので、外観の写真などを見てみたいです。
女性	30～39歳	北九州地区	民間救急の存在を今まで知らなかった。もっと広まればいいのにと感じました
男性	30～39歳	福岡地区	正直なところ、救急の種類が複数あることを理解できていなかった。使い分けについての市民の啓蒙に加えて、利用者だけが判断して、過大な救急を利用しないようなプロセスの整備も必要と感じた。
男性	60～69歳	北九州地区	新型コロナが感染拡大している現状では、消防救急車だけでなく民間救急も大いに役割が期待される。一般の人にも少し存在を知らせる工夫が必要かと思う。
男性	40～49歳	福岡地区	消防救急で、後に軽傷と判断された場合、一回の出動につき、数千円の料金を請求するようにする。
男性	50～59歳	福岡地区	消防・病院救急車が限られている中で、民間の救急車を利用することは今後は必須になっていくと思われる。消防救急車が無料で利用できることから利用が集中しているのではと思うので、利用者負担の観点から一部有料化なども検討していく段階に来ていると思う。報道では中にはタクシー代わりに使う人もいるなど極例ではあるが、本当に必要な人の為に利用を制限することも必要なのではないか。
女性	40～49歳	福岡地区	コロナで救急搬送してもらえらる手段が増えるのはありがたいことだと思います
男性	70歳以上	福岡地区	・日常生活の中では、聞いたことがなく認知度が低いように思える。 ・もう少し広くお伝えした方がいいかと思える。
女性	40～49歳	筑豊地区	有償とは利用者負担と言うことでしょうか？誰も悪く無い事で当事者が負う金銭的負担が無い社会になって欲しいと思いました
男性	20～29歳	福岡地区	できるだけ軽症患者はそちらを利用するようにしたい。 本人判断では難しい部分があるので、応答した側が判断するほうが良いと思う
女性	50～59歳	筑後地区	有料なら金額がはっきりわかった方が利用しやすい
男性	60～69歳	北九州地区	コロナ禍で消防車の緊急利用が多くなっていると聞いていますが、命に関わるようなときは、優先して利用できる体制が必要だと思います。 民間救急のことも知っていますが、いざ自分が利用するとなると利用方法など全くわかりません。 連絡方法や利用の場合の利用代金などを自治体で情報提供してほしいと思います。 特に金額面が気になります。

性別	年代	地区	問7
女性	60～69歳	北九州地区	料金が高価だと利用が出来ない。 また緊急性がある場合は利用しないと思う。
女性	40～49歳	筑後地区	緊急時には救急車という認識がなく、民間救急についてはあまり知らない。知らされていない。
男性	60～69歳	筑後地区	民間救急のことについて、もっと広報が必要だと思う。
男性	40～49歳	福岡地区	民間救急の認知度を上げる必要があると思う。 何かあれば119番通報すればよいと考えている人が多いと思う。 緊急性のある人が緊急時に利用出来るように民間救急の利用を促す活動が必要。
男性	40～49歳	福岡地区	私は病院救急車や民間救急のことは全く知りませんでした。昨今の新型コロナウイルス感染拡大の問題よりも前から、緊急性のない救急車の要請や非常識な利用も問題になっている中で、病院救急車や民間救急は非常に重要なポジションにあるかと思うので、これらの積極的利用及び周知させることは賛成です。ただ、病院救急車は、緊急走行ができるので重傷（症）者なのか、軽傷（症）者なのかの判別がつけば対応できるかと思いますが、民間救急の場合、軽症と誤っていたら実は重症だった・・・という場合には対応が遅くなりますので、判断が難しい。また、有償とのことなので費用負担について利用者に理解してもらえるかどうかという問題があると思います。
男性	40～49歳	北九州地区	救急をなると119番というイメージがあるので、民間救急に電話しようとは思いつかない
女性	70歳以上	福岡地区	高齢者が多くなり利用はすく増えると思います。
女性	70歳以上	福岡地区	必要でしょうが、費用はどのようになるのかわからない。タクシー利用位だと普通に利用できるのではと、思います。
女性	30～39歳	福岡地区	サイレンなど警告するもねがないと緊急性を感じないので緊急性があるときは切り替え機能などあってよいのではないかと思う。 車椅子専用で緊急性がないのは民間救急なのかと思ってしまう。
女性	50～59歳	北九州地区	あまり世間に知られていないので、アピールすべき。
女性	60～69歳	北九州地区	もっと周知したら利用する人も増えると思う。
男性	60～69歳	筑後地区	民間救急で苦勞されている方には大変感謝しています。これからもみんなのために頑張ってください。
男性	20～29歳	北九州地区	もっと民間救急のことを知りたい
女性	20～29歳	北九州地区	救急車でないといけない事例での救急車有効活用のためにも民間救急の存在を広める必要があると考える。 また、各自治体の人口に見合った民間救急を普及させるために県などで支援する必要がある。
女性	30～39歳	筑豊地区	今日のアンケートで知りましたがとても良いことだと思いました。
女性	50～59歳	北九州地区	とても、いい制度だと思いました。もっと、世の中に浸透していくと、いいなと思います。
男性	40～49歳	筑豊地区	あまり知らなかったです。
男性	60～69歳	北九州地区	良いことだと思ます。
女性	60～69歳	福岡地区	消防救急車の数が県内で200台足らずということを知り、今後は民間救急の活用は必要だと感じた。
女性	60～69歳	北九州地区	医療崩壊防止の為民間活用望ましい
男性	30～39歳	福岡地区	まずは、民間救急の存在を広めることが重要だと思う。 しかし、利用が有償ということならば、多くの人が消防救急などを使用すると思うので、これをどう解決するかが課題になると思う。
男性	40～49歳	北九州地区	圧倒的に知名度が足りないのではないかと
女性	40～49歳	北九州地区	消防救急や病院救急だと、無料で利用できるのであれば、本当は救急車を呼ばなくても大丈夫だと分かっているけど、簡単に呼ぶ方も多々いると思うので、民間救急をもっと全面に出して、利用者数を増やしてもいいのではないかと思います。 コロナの今の世の中では、救急に携わっている方も命がけで皆さんが仕事をしてくださっているの、少しでも医療関係者の方の負担を減らす事を考えていかなければならないと思います。
男性	20～29歳	福岡地区	より認知されるようになれば利用者も増えると思う。多くの人は知らないために119番をしているように思える。
女性	30～39歳	福岡地区	民間救急というもの知らなかったが、 救急ではない場合こちらを使うことで救急車や救急隊員の負担を減らせて患者に問題なければもっと積極的に使うべきだと思う。 しかし知らない人が多いと思うので、もっと積極的に広めたいと思う。
男性	50～59歳	福岡地区	状態によって、振り分け機能があると良い
女性	60～69歳	筑豊地区	緊急性がない移動の手段として、大いに利用してもらいたい搬送であると思うが、知らない人がたくさんいると思う。周知をしてもらいたい。介護認定を受けている人は、安く利用できるのかなと思いました。転院の場合などは病院や施設から斡旋してもらうことになるのでしょうか。
女性	40～49歳	北九州地区	今回民間救急の詳細を知ることができ、いざというときのために頭の片隅に置いておこうと思う。
女性	30～39歳	筑後地区	民間救急の存在意図がよくわからなかったの、何とも言えない。
女性	40～49歳	福岡地区	民間救急（患者等搬送事業者）自体知らなかった。家族も誰も知らなかった。全く浸透してないと思います。利用方法がわからないです。
女性	30～39歳	筑豊地区	知らなかった 地域の広報などに掲載した方がよいと思う 知らない人が多い
女性	60～69歳	北九州地区	消防救急と民間救急の使い分けが難しいように感じる。 どんなとき消防救急を使っているのか判断が難しい。
女性	40～49歳	筑後地区	消防救急隊員の負担減、より緊急を有する人のためによいと思う。 コロナ特集の番組で民間救急で搬送される人を見たがそれが、人生において民間救急という言葉聞いた初めてだった。そしてそれ以後聞いたとはなく、もっと、広く周知されるとよいと思う。 緊急性がない場合は民間救急という選択肢も自分の中にあつてよいと思った。 私自身は第一子出産時にNICUの保育器が確保できず福岡市内から北九州まで消防救急にお世話になった。また、第二子が1歳で腸じゅうせきになったときに子ども病院から福岡大学病院まで、搬送してもらった。どちらもサイレンと赤灯で迅速に対応していただき心強かった。 民間救急だと利用者の負担金があるのか、条件があるのかわからないことはまだあるが、民間救急という存在が高齢者が多い八女で活用されるといいと思う。
女性	50～59歳	福岡地区	コロナ下では救急搬送に大きな負担がかかっているの、活用できるものを使うべき。
男性	40～49歳	筑豊地区	民間救急があまり活用されていないのが何故なのかを知りたいです。
女性	30～39歳	福岡地区	患者を搬送出来る手段が多いのは良い事だと思うけれど、サイレンまで鳴らしたら尚良いと思う。
女性	50～59歳	福岡地区	民間救急について利用の仕方等が分からないのもっと知らせるべきだと思います。
男性	30～39歳	福岡地区	民間救急についてさらに知りたいと感じました。救急車の数はそんなに多くないのですね。
女性	60～69歳	筑後地区	消防救急車は、連携している病院も多く、搬送先も見つかりやすいように思う。
女性	40～49歳	北九州地区	言葉は聞いた事があるが、実際に公道を走っている所は見た事が無いし、認知度は低いと思う。
女性	60～69歳	筑後地区	良い制度だと思いますが、救急性が高いときは、利用するのに躊躇します。特に親の場合、万が一のことがあったら後悔すると思います。
男性	40～49歳	福岡地区	救急性が低い連絡はあるかもしれないが、それを減少させれば緊急性が高い連絡も少なからず影響を受けると思う。救急車、消防車、パトカー等呼ぶ際に直感的に必要事項を入力できるようなアプリを開発するのはいかがでしょうか。
女性	40～49歳	福岡地区	搬送が必要なケースが同時に発生したような場合などでは特に、緊急性のない傷病者の搬送に非常に有効であると思いました。

性別	年代	地区	問7
男性	60～69歳	福岡地区	赤色灯を付けたり、サイレンが鳴らせないなど制約は多いですが、消防に負担が増える中で、民間救急活用のための法的な整備が急がれると思われます。搬送中に交通事故に巻き込まれた時の責任の所在などについて。
女性	30～39歳	筑豊地区	消防救急が逼迫していることは知っている。しかし、民間救急が消防救急とどう違うのか、自家用車やタクシーでの移送とどう違うのか、いまいまいわからない。わからないので、選択肢としてあがりたくいとおもう。
女性	50～59歳	福岡地区	幸い、救急車を今まで利用したことはありませんが、119番もしくは、救急病院に連絡する場合は、かなり危険な状態であると認識しているので 緊急でも搬送だけであればタクシーもしくは家族の車でよいのではないかと思います。患者を一人で搬送できない事態などは利用もあり得るが、緊急時に対応してもらえないのであれば利用する機会は少ないかもしれません。
女性	40～49歳	福岡地区	私は存在自体知りませんでした。実際、知っている人がどのくらいいるのか気になりました。
男性	30～39歳	北九州地区	コロナや熱中症、災害などで消防救急が不足することはどうしてもあると思う。もっと民間救急に投資し、拡充を図ることは大切だと思う。
女性	30～39歳	福岡地区	民間救急について知らなかったが、今後、本当に必要な人が消防救急を利用できるようにするために、積極的に推進し、使用していくべきと思った。緊急な要件でなくとも消防救急を使用していた方も、有料の民間救急では利用が抑えられると思う。しかし、その場合、消防救急が必要な急を要する病状の人が金銭的な問題で利用を控えることがないように一定の配慮が必要であると思う。
男性	50～59歳	北九州地区	救急車は相応の緊急性がある場合に重点化すべきであり、そのための待機も必要である。緊急性が低い患者や傷病者の搬送に民間救急は積極的に活用されてよいと考えるが、認知度はあまり高くないのではないだろうか。利活用を促進するためにも社会的な周知を進める必要があろう。
男性	60～69歳	福岡地区	軽度の症状の場合は民間救急を利用する様になればいいとおもう。また、緊急走行をできるようにしてほしい。東京ではコロナが疑われる人を専門に搬送する民間救急事業者がある。
その他	40～49歳	福岡地区	実際に利用した経験がないため、説明を読んでも少し難しい印象を持ちました。できればもう少し分かりやすく説明してもらいたいです
女性	30～39歳	北九州地区	救急電話相談窓口などにおいて、消防救急車、病院救急車、民間救急のどれが適しているかを判断し、軽症の場合、病院救急車や民間救急に応援を頼む方法もあるのかな、と思いました。その一方で、誤って重傷者が消防救急車以外の車で運ばれ、万が一のことが起きたら、責任の所在はどこにあるのかが問われる可能性もあります。そのような事故が起きないためにも、相談窓口や民間救急を担当している方のための研修や訓練を充実させるべきだと思います。
男性	60～69歳	筑豊地区	家族が施設等を利用しているなら、民間救急も知ることが可能であるがそれ以外の方なら知ることができず、従来の消防救急の方へ利用するかと思います。民間救急のアピールが必要と感じます。
女性	60～69歳	福岡地区	救急の場合の対応になった時は心が急いでいるため、深く考える事が出来ないため、部屋に救急になった時のために連絡先を記載した紙を貼っておく事です。
男性	30～39歳	北九州地区	民間の需要があるのなら、今後も存在するだろう。
女性	18～19歳	福岡地区	高齢者は増加しているため、病院の入退院などで民間救急はこれからより需要が高まると思う。
女性	60～69歳	福岡地区	かつて母が転院する際、この制度があれば良かったと思う。そう言った情報を高齢者が行く施設や病院にポスターなどでお知らせして欲しい。
男性	40～49歳	福岡地区	民間救急は、素晴らしい制度であると思うが、緊急事態下ではやはり119番通報を選択したほうが、迅速かつ病院への受け入れ等に関して有利なイメージがある。それらを払拭するアピールが必要ではないでしょうか？
男性	50～59歳	北九州地区	これからの時代サービス業として救急はあるべきで拡充の方向であらべきでは。
女性	60～69歳	福岡地区	民間救急について今回初めて知った。五号線沿いに住んでいるので救急車の音は常に聞いており、搬送件数の多さは肌で感じている。緊急性がなければ使うべきでないとは思いますが、素人は判断に迷うことも多いだろう。7119にかけてアドバイスをいただける仕組みができたのはありがたいと思う。また、民間救急で緊急性のない事例について支援する仕組みがしっかりあった上で、県民に周知徹底すれば、消防救急車との仕事分担ができるだけでなく、依頼する側の安心にもつながるだろう。消防救急車が自力か、という二者択一の事態はつらく不安である。
女性	40～49歳	福岡地区	より緊急性の高い方を救っていただくために消防救急や病院救急の負担を減らす必要があるため、民間救急の活用は大切だと思います。ですが利用方法がよくわからないこと、また料金がどれくらいかかるのかなどは不安でもあります。緊急時は#7119へ相談的的確な指示をいただこうと思いました。
女性	20～29歳	北九州地区	緊急走行はできないがもし身近に障害を持った方や車椅子になった人が現れた時、自分1人では車に乗せられないので、民間救急を利用したいと思った。民間救急を知らない人もまだまだ沢山居ると思うので、こういうものがあるということを知ってほしいと思った。
女性	30～39歳	筑後地区	今回初めて民間救急を知りました。民間救急という名前だったのでどういうものか全く分からなかったのですが、予約制の医療用タクシーのようなサービスのような感じですね。体が不自由であったり、簡単に移動できない人にはとても便利だと思います。もっと世間知ってもらわなければならないと思います。
男性	70歳以上	筑後地区	周知の度合いが低いのではないのでしょうか？
男性	60～69歳	筑後地区	現状では消防や病院を使うのは限度があるのでタクシーやまわりの人間に頼る事になりますが搬送中に具合が悪くなった時困るので医療知識がある民間救急は助かります。しかしその前に県の医療相談電話等利用していきたいです
男性	60～69歳	北九州地区	救急時の状況の自己判断が難しいので、どうしても確実な実績のある消防救急に頼るのでは？時間に余裕があれば、病院、民間の救急もありえるが・・・。その仕分けの手段、方法の確立、周知が必要。
男性	70歳以上	福岡地区	昨今のことを考えるとこのシステムの充実喫緊の事だと思います
女性	20～29歳	筑後地区	そんな業者さんがいることをはじめ知りました。
女性	70歳以上	北九州地区	今後は民間救急の必要性が、今までよりもずっと増すと思います。命を守ることが一番大切です。そのために幅広い民間救急の導入を期待しています。特にコロナ下での不安は増大しています。せめてこうした民間の救急搬送の活用で、様々な連携が生まれ、機動力が増し、患者の皆さんの心配の軽減と自治体の負担が少しでも減ることを希望します。
男性	60～69歳	北九州地区	消防救急車が不足気味であることは報道等で聞いているが、民間救急は緊急事態の時は救急車のように救急走行ができないと聞いているので、緊急時の利用についてはやや不安がある。
男性	30～39歳	筑豊地区	病院救急車の活用は、消防救急の要請件数増加の抑制につながるのであれば、重症患者への病院救急車でのドクターカー派遣（ラビットカー型ではないということ）や病院間での転院での活用が最も有効であると考えます。現在この貴重な医療資源の活用に対して補助金支援はないのではないかと思います。ここに支援があれば、マンパワーを充実させることができ、消防救急車の活用を抑制することに繋がると感じます。民間救急車は、消防救急が要請者、患者と接触し消防救急車での搬送を必要としないが移動手段がないケースに限って活用を可能にする制度を確立すれば利用は広がると感じます。今の消防は、要請があれば搬送することが原則であることへの改善です。
女性	20～29歳	福岡地区	どうしても消防救急車より優先度が低く、患者の安全性に不安を感じてしまう。緊急性が低いと自覚している場合は利用しても良いと思うが、今の知識量だと救急車の方が安心と感じる。

性別	年代	地区	問7
女性	50～59歳	福岡地区	上記にも記しましたが民間救急の費用面に関することは重要だと思います。本当に緊急だと感じている患者や家族からはサイレンの音に対する心配などは二次ですが、救急車を呼ぶ時に「サイレンは鳴らさないで欲しい。」などの注文がある場合があると聞きます。つまり、患者の状態も心配だが他にも気をまわらせる余裕がある場合の状況であると予想できます。そういった状況にある人であれば、「病院に行かなければいけない状態の家族が心配なので連れては行きたい。しかし、患者本人や家族だけで階段を降りたり、車に乗せたりすることまでは難しい。他人に助けてもらわなければならない。」という考えを巡らす中に民間救急への依頼が思いつき、なおかつ消防救急とは違い、タクシーに近い迎えのきかたをしてくれるとなれば利用につながることもあるのではないのでしょうか。問題となるのは費用が負担になり過ぎないことです。そこには非営利補助部分を設けて欲しい。そしてそれを広く知ってもらうこと。そこがクリアできれば、利用の拡大につながれるように思います。
男性	50～59歳	福岡地区	講習等を実施して特例的に緊急走行を可能にできないか。有料搬送でもよいのでは。
女性	20～29歳	福岡地区	以前、目の前で急性アルコール中毒になった方に遭遇し、どうしたらいいかわからずとっさに119番をしたことがあるのですが、救急電話相談を知っていれば、救急車を呼ぶかどうか判断の基準になったかなと思いました。自身の周りでは救急電話相談の存在を知らなかったため、もっと若い世代にもPRしたほうが良いと思いました。
女性	50～59歳	筑後地区	もっと広く知れ渡れば救急車の適正利用に繋がると感じます。
男性	70歳以上	北九州地区	資格ある隊員がいて同等の設備のある消防救急車であれば民間でも病院でも早ければよい。
女性	20～29歳	北九州地区	医療従事者ではない一般人が患者の容態を正確かつ冷静に電話で伝えることは難しく、もし判断ミスがあった場合は伝える側も責任を感じてしまうと思う。そのため、明らかに緊急ではない怪我などを除いて民間救急を利用することは避けたいと思う。
女性	20～29歳	筑後地区	特にありません
男性	50～59歳	福岡地区	症状によって、自分自身及び家族が使い分けが必要になる。又は、オペレーターの方が判断して使い分ける。事前に了承を頂く。
女性	70歳以上	福岡地区	名前も聞いた事がなかったので、広報誌等で取り上げてもらえたら良いのではないかと思います。
男性	30～39歳	筑豊地区	緊急ではない患者等を搬送できるなら、消防救急車を緊急にまわすことができるとよいと思う。
男性	50～59歳	福岡地区	民間救急は、実際に利用した事はないし、身近で利用した人はいないが、とても良い、必要な制度なので、推進させて欲しい。
男性	60～69歳	福岡地区	利用しやすい方法が良い。
女性	30～39歳	筑豊地区	民間救急とは初めて聞いた。有償との事なので、呼ぶのに、料金がいくらかかるのかななどの不安がある。料金やシステムが明確ではないので、いざという時に頼むかと聞かれると、頼まないと思う。
女性	50～59歳	北九州地区	実際に見かけたことがないし、一般的には普及していないと思う。こういうものがあり、また消防救急の作業を補助できるのならもっと県の広報などでわかりやすく知らせるべきだと思う。救急性があるかないかはその時の状態によって違うし、当事者はパニックになっていることもあるので、わかりやすい説明が必要だと思う。
女性	50～59歳	北九州地区	どこに配置されているのかどこまで来てくれるのか料金がいくらかかるのか病院へはスムーズに運んでくれるのか救急救命士は乗っているのかなど全てが分からない。過疎地域に住むものには全く情報がなくてわかりません。
女性	18～19歳	福岡地区	救急車にもいろいろな種類があることを初めて知りました。特に重大な怪我病気でなくても関わらず、救急車を呼ぶ人が多く、そのせいで本当に救急車が必要な人のところに救急車が届かないということは聞いたことがあったため、自分がもし病気が怪我などをたときにそれが本当に救急車が必要なのかどうか7119も利用しながら冷静に判断できるようにしたいと思いました。
男性	40～49歳	北九州地区	費用がいくらかかるか、救命措置が適切に行われるのかわからない。
女性	40～49歳	筑後地区	民間に協力していただけるのは、ありがたいことかと思う。いま、コロナが拡散していることもあり、できればタクシーでも感染させる恐れがあると思うと、専門的な医療関係の方々の助言をいただいている移動、移動機関の確保が重要になると思われる。
女性	20～29歳	筑豊地区	民間救急というのを今初めて知った！民間救急についてテレビとかで特集されたら、救急車を軽傷なのに使う人とか減るのでは、ないか？
男性	60～69歳	筑後地区	有料で利用できるのであれば利用したい。消防救急車は緊急限定で重篤な場合に限定すべきと想っている。タクシー代わりに呼ぶ等もってのほかである。
女性	30～39歳	北九州地区	民間救急は知らなかったです。本当に救急な人の所へ緊急救急車が行けるようにならなければと思う。国民、特にお年寄りはずっと救急車を呼ぶ傾向にあるから、違いを明記した書類を配り、電話の近くに貼ってもらうなど工夫をしなければと思う。
女性	60～69歳	福岡地区	民間利用についての賛否はわからない。あまりに非常識な人間には後で請求をしてよいと思う。
女性	30～39歳	北九州地区	民間救急があると、不必要に救急車も出動しなくて良いと考えられる反面、いざ民間救急車を動かさせて現場で救急車が必要だ！すぐに処置が必要だ！となった時、時間との勝負にもなってくるので少し不安はあります。
男性	50～59歳	北九州地区	聞くところによると、民間救急は割高だと言う事なので余り使いたく無いと思っています。
男性	30～39歳	福岡地区	コロナ禍で緊急搬送が増えている時期だからこそ、その重要度に応じて民間救急との使い分け、協力が重要になると思います。民間救急についての情報発信が必要だと考えます。さらにはその割り振りを行う自治体の部署のようなものがあるといいのではないかと思います。
女性	60～69歳	筑豊地区	民間救急（患者等搬送事業者）について知りませんが利用が増えれば消防救急の負担が減るのでは無いかと思います。
男性	60～69歳	北九州地区	緊急搬送できるように、赤色警告灯やサイレンを許可できないでしょうか？
男性	40～49歳	福岡地区	緊急性の無い方の搬送があるのであれば、消防救急車ではなく、病院救急車や民間救急（患者等搬送事業者）の活用を行い、かつ、緊急性が無い用件については、後日費用の請求を行うなどの牽制の仕組みを構築してはいいかでしょうか？
男性	30～39歳	福岡地区	民間救急については最近報道でも見かけるようになりましたが、まだまだ一般には浸透していないように思います。福岡県内に民間救急の業者がどれくらいいるのか、また費用がいくらかかるのかなど、多くの人が分かる（市政頼り以外の方法）情報発信をLINEや市長のブログでしていただきたいです。
女性	30～39歳	福岡地区	そのような車両があること自体を初めて知ったのですが、緊急でないが自家用車での運搬が難しい、自家用車を所有しておらず、公共交通機関での移動が難しい、などの理由の方が気軽に使える媒体として利用されればよいと思います。民間救急の利用が増えることにより、緊急でない場合の消防救急の利用が減り、本当に緊急な場合の救命救急が迅速にできるようになればよいと思います。
男性	60～69歳	北九州地区	民間救急については知りませんでした。市民の認知度はどの程度なのでしょうか？どこに電話をすればよいのかも分かりません。もっと宣伝をしてはどうでしょうか。
男性	70歳以上	北九州地区	民間救急についてのPRを強化し、消防救急の負担を軽減すべきだと思います。
女性	50～59歳	北九州地区	冒頭にもあったとおり、救急医療の需要はさらに高まっていくと思われるため、やはり役割分担は必要だと思われる。今回、民間救急（患者等搬送事業者）について学ぶことができてよかったと思う。ストレッチャー（車輪付き担架）や車いすのまま、医療機関の入退院、通院及び転院を行えることと、高齢の親の為に利用の方法など知りたいと思った。もし医療機関などで指示・助言などあれば家族にも相談した上で利用したいと思う。広く認知されれば今後利用者は増えていくと思う。
男性	50～59歳	福岡地区	民間救急は企業が営利で行なっているので、事故の際の補償がないのではと感じる。医療関係の資格のない運転手が一人で搬送して危険だと感じる。
男性	20～29歳	福岡地区	コロナで負担が増えていると思うが、その人たちに賃金を増やして欲しい。
男性	60～69歳	福岡地区	民間救急（患者等搬送事業者）の存在を知らなかった。またどのように使うのか（呼べばいいのか）わからない。
女性	20～29歳	筑豊地区	その様な事業があるなら積極的に利用させて頂き、重症な方が救急車を利用すべきだと思う。

性別	年代	地区	問7
男性	60～69歳	福岡地区	1. 「民間救急」についての認知度がまだ低いと感じています。 2. 同じく「救急電話相談窓口（#7119）」についても知りませんでした。（聞いたり、見たりしたかもしれないが、記憶に残っていませんでした。） 3. 「民間救急」については、費用が掛かることも利用する側としては、二の足を踏むと思います。「救急車」なら費用も請求されず、容易に通報利用し易い環境にあると感じています。 4. 「民間救急」の利用費用についても、「健康保険」などいって一部の補助の仕組みがあれば、利用が拡大すると考えます。 5. 「救急車」の利用についても、事故などや災害がいについては、利用料金の一部負担の制度を設けても良いと思います。
女性	18～19歳	福岡地区	助かる命を助けるためにも、#7119の認知度を増やす必要があると思いました。
女性	50～59歳	福岡地区	民間救急について、詳細がわかり良かった。 義母が車椅子を使用しているので、今後病院への入退院や通院の際、検討したいと思った。
男性	30～39歳	福岡地区	民間救急をどのような企業がやっているのか不明であり、その企業が信用にたる医療知識や技術があるのかが分からないため、不安で利用しようと思いません。 民間救急を行っている事業者が公的な資格を有しており、消防救急以上のサービスを受けられるような民間救急を使用するメリットが分かることに加え、逆に軽微なケガで消防救急を利用した場合の罰則などデメリットがあると利用が増えると思います。
女性	60～69歳	福岡地区	役割については分かったがどういう方法で利用するのかとか、料金とか詳しい利用方法の案内があると利用者が増えると思います。
女性	40～49歳	福岡地区	民間救急について知らない事が多かったです。今回内容を読ませてもらい少し知る事ができました。 もしかしたら、市政だよりなどで過去に説明などあったかもしれませんが、市政だより自体読まない方が多くいらっしゃると思います。特に我々40代は仕事、子育てに忙しく、読みたくても中々です。素人の助言すみません。難しいかもしませんが、もう少し表紙にインパクトを出して、色々な年代の方が読もう！と思えるものにしてもらいたいなあと思います。救急車の事についても、今のコロナ禍でとても重要な課題になってくると思います。市民1人1人が考えさせられる内容にしてもらいたいなあと思います。
女性	30～39歳	福岡地区	緊急性がないという判断が正確にできるかが不安です。 専門家の正しい判断を受けた上で利用できるのなら、大変魅力的だと思います。
女性	40～49歳	筑豊地区	もっと周知されれば、消防救急の要請が減って、本当に急を要する人に使われるかも。また、緊急度合いに応じて、民間救急に振り分けができれば、有償ということもあり、身勝手な利用が減るかも。
男性	60～69歳	福岡地区	民間救急に限らず、消防救急もある程度有料化を検討すべき。 そうすることで軽度の患者による消防救急の負担軽減になる。
女性	18～19歳	北九州地区	海外の民間救急をテレビで見た際、有償のためトラブルがあるときいたため、ネガティブなイメージがある
女性	20～29歳	福岡地区	自分で連れていけない場合や急変するおそれがある時にこのようなサービスがあると安心できる
男性	40～49歳	北九州地区	民間救急が有料で消防・病院救急が無料であれば、民間救急の利用数は増えないと思う。民間救急に国や県、自治体が料金を払い、消防・病院救急を有料にした方が良いのではないかと。もしくは、緊急を要するのか、そうでないのかで料金を変動させ、徴収した方が良いと思う。
女性	30～39歳	筑豊地区	私は救急の現場で働いていた経験があります。 筑豊地区の救急車に対する人々の認識において、手厚いサービス付きの無料タクシーだと感じている方々がおられるのは、残念ですが事実で、いつも悔しく感じていました。 筑豊地区の方々にとって、無料で受けられるサービスがある今現在、もし、有料の民間救急を導入したとしても、その利用は普及せず、認知度も上がらず、根本的な解決にはならないのではないかと思います。 残念ですが、地域性が邪魔をして費用対効果は低いと思われる。 特に、生活水準が一定より明らかに高いのに生活保護を受けている方々や、内縁による母子家庭の保障システムを上手く譲受している一部の方達が多いこの地域性を考えると、有料の民間救急の普及は難しいと思います。現場で働いていて、いつも感じていました。 このコロナ禍、民間救急の導入が期待されます。 私が思うのは、今ある救急車の利用を、軽症で医師が救急搬送が不要であったと判断した症例に対し、実費で一定金額を請求できるようにしたりしてはどうかと思います。 救急の現場で、今も働いている仲間達の心身の健康を願っています。
女性	30～39歳	筑後地区	民間救急も知識のある方が同乗していただければ、安心して利用する人が増えると思う。知らない人が多いと思うのでアピールができる場所があれば良いと、思う。
女性	30～39歳	筑後地区	コロナ禍の実情を踏まえ、消防救急車以外の救急搬送が必然と思うので、もっと多くの市民に病院救急や民間救急の手立てもある事を知って貰う事が大事になるかと思えます。なので119番通報と同じくらい直ぐに覚えられる番号での救急搬送番号があると活用しやすくなるのではないかと思います。緊急の場合、多くの方が脳裏に思い浮かべるのは119番です。また別の救急搬送手段、番号があるという事は、緊急時命を救える幅が広がり、高齢化やコロナ禍で搬送難民を減らすことに繋がるので、TVニュースや新聞などで、国民に周知してもらい必要があると思います。
女性	30～39歳	福岡地区	いい制度だとは思いますが、民間の搬送で大丈夫なレベルなのかどうかの判断が自分だけだと難しいと感じた。
女性	60～69歳	北九州地区	高齢の両親が転院する際に数回利用した経験がある。手配は、入院していた病院の方でしてくれたため、こちらは両料金を支払うだけでよく、また転院先の病院への連絡も前の病院でしてくれていたため、スムーズに転院できた。義母が鼻管栄養のチューブをつけていた時には、家族の同乗を求められたが、コロナウイルスのため面会がかなわなかった中、義母の様子を見ながら、話しかけながら、転院できたので、むしろお互いの安心のためにありがたいと感じた。運転手さんの対応もとても良く、行政の救急車や病院の救急車は、緊急用のみ出動したらいいと思う。
女性	20～29歳	筑後地区	救急電話相談窓口がある事はだいぶ浸透してきたように感じますが民間救急がある事は私自身アンケートを受けるまで知らなかったのもっと宣伝すべきだと思いました。 若い方は民間救急の細かな事はネットで調べれば良いですがお年寄りなどは難しいと思うので、入院先の病院などから案内があると良いと感じます。
女性	40～49歳	福岡地区	母の体調が悪い時、#7119に父が連絡したところ、高齢ということもあり救急車を呼んだほうがいいと言われました。しかし救急車を呼ぶと、近所の人も見るから嫌だと母が言い、タクシーで急患センターに行きました。 その時、民間救急のことを聞いていたら、少しは安心できたのではないかと思います。 本当に必要な人が必要な時に救急車を使ってもらいたいです。民間救急はどこに連絡したらいいのか、地下鉄や電車の車内広告などでもっと広めてほしいです。
女性	50～59歳	筑後地区	大変だと感じたら、すぐに、119番救急車、という考えが、定着しているように思う。救急車の稼働率や、救急車にもいろいろあり、場面によって、使い分けよう、考えさせる必要がある。SNSの広告などを通じて、広く、身近に広報することも大切かと思う。
男性	50～59歳	福岡地区	現在のコロナウイルスを取り巻く現状を鑑みたとき、消防救急車や病院救急車では対応の範囲を超えていると考えます。そのため民間救急の役割はもっと大きくなると考えます。 民間救急が緊急走行できるように規制を緩和し救える命をもっと多く救えるようにしていく必要があるのではないかと思います。 まだまだ民間救急の周知が為されていないように感じますのでさまざまな媒体を活用してより幅広い広報活動をしてほしいと思います。
女性	20～29歳	北九州地区	搬送件数が増加している事も、本当に必要な方が利用できない状態がないようにするため民間救急の認知度が上がるのではないかと思います。ただ、緊急性のない怪我で救急車を呼ぶ人がいるという事に驚きました。
男性	18～19歳	福岡地区	民間を導入することで、かかりつけ医に行きやすくなり、たらい回しになりにくそう。 ただ、お金がかかるイメージがある。
男性	50～59歳	筑後地区	都市部にはあっても地方には無いのでは？

性別	年代	地区	問 7
男性	40～49歳	福岡地区	もっと、認知が高まるように広報誌で詳しく紹介して頂けたらと思います。
女性	40～49歳	筑豊地区	必要でない方の利用がないことを願います。本当に必要な方がきちんと利用出来る様になって欲しいです。
男性	50～59歳	筑後地区	民間救急については、これまで聞いたことがなく、詳細も知らない。一方、消防救急車については、緊急性のない搬送が多いことが問題となっているため、民間救急の存在、必要性及びメリット等を周知し、その活用拡大を図るべきだと思います。
女性	70歳以上	福岡地区	もっと多くの人に認知されるように広報に力を入れることが必要と思います。(私があまり気づいていなかったからかもしれません。) それでもみんなに知られるようないろいろな方法を考えてほしい。
女性	20～29歳	福岡地区	詳しく分からないので、もしもの時に頭に浮かばない。
男性	50～59歳	福岡地区	想像の域を超えませんが、軽傷や緊急性のないケースがそれなりの件数あるということは、利用者側のモラルや意識の問題が原因だと思います。とりえず、困ったから119番、言い過ぎかもしれませんが、タクシー代わりに利用している人もいます。まずは、この状態を改善する必要があると考えます。そのためには、利用者側、提供側両面からのアプローチ、改善が必須だと思います。利用者側に関しては、まず、救急車や119番の意味、軽い気持ちで利用することで、本当に必要な人が利用できない可能性があることなどを正しく理解してもらうこと。そのためには、行政として、或いは、学校や職場などでの教育や指導、広報や通知などの徹底が必要かと。(上述の3パターン利用場面などを具体的に提示することも含め)但し、あまり制限や決まりを厳しくすると利用のハードルが上がり、本来の意味を失う可能性もあり、難しいところだと思いますが、やるべきだと考えます。次に、提供側としては、通報を受けた段階での振り分けや判断がより正確にできる仕組み作りや教育です。例えばICTの活用により、利用頻度の多い方、再利用の方等々や既往症や基礎疾患等々の有無などをデータベース化しておくことで、通報時にある程度の状況判断材料にするとか、対象者の情報をすぐに照会(或いは、電話番号で自動的に)できるようにすることで、判断に役立ち、ひいては、不必要な出動や最適な救急対応がある程度は可能になるかと考えます。もちろん、個人情報問題等、課題はありますが、乗り越えるべき課題だと思います。
女性	40～49歳	北九州地区	消防救急車の適正な利用については、県民の良識に委ねるところが多いと思いますが、良識に特化した普及活動は、不適正な利用によって、良識ある人こそが利用に慎重になるという悪循環を招くことは、従来から指摘されているとおりだと思います。そのため、幅広く県民に民間救急(患者等搬送事業者)について周知することは、大変重要だと思います。
女性	60～69歳	福岡地区	詳細がよく分からないので調べたい
男性	30～39歳	北九州地区	これまで家族の急を要する病状(アナフィラキシーショック)にて消防救急車を要請したことがありますが、病院救急や民間救急の利用方法については殆ど知りませんでした。日常生活で救急車を利用する機会が少なく、自分から情報を調べて初めて分かることだと思うので、いざとなった時に迷わないようHPや新聞、TVのCM、電車の広告等での積極的な周知が必要ではないでしょうか?
女性	30～39歳	福岡地区	消防救急は本当に緊急の場合のみに徹し、適切な人が適切な病院へ最速で運ぶためにのみ使用することが大切だと感じた。 その他の場合は民間救急が利用出来るよう、いろんな人、特に高齢者が周知出来るようなシステムを身近に置くべきだと思う。
男性	40～49歳	福岡地区	民間救急があることを初めて知った。消防救急がひっ迫している中、どうやったら使えるのか等、もう少し世間が認知すると思う。119番以外の、誰でも覚えやすい緊急の番号としてあれば、なおよいと思うが、必要ない人が利用するケースのないようにする仕組み作りも必要。
男性	50～59歳	福岡地区	家族に医療関係者がいるため、救急電話相談窓口について知っております。しかしどれだけの県民の方が救急電話相談窓口を知っているか疑問です。 昨今多くの方がスマホを使われる中、救急隊を呼ぼうかどうか迷ったときに救急電話相談窓口に簡単に電話がつながるアプリなどを県から無料配布してはどうかと常々思っています。
男性	40～49歳	筑後地区	このコロナ禍で救急搬送の依頼も多く、本当に救急車で搬送しないといけない人が病院に行けないという現状を打破するために官民一体なって連携を取りながら振り分けて搬送することも必要だと思う。 病状を聞いて救急で運ぶか緊急性がなければ民間で搬送してもらうよう消防本部と民間の連携ルートも必要だと思う。
男性	30～39歳	福岡地区	これからもっと利用しやすくなればと思っています。
女性	30～39歳	北九州地区	民間救急なるものが存在することは知らなかったが、消防救急車の利用率向上が問題視されていることは聞いたことがある。民間救急がもっと認知されるようになり、軽度の患者についてはそちらを利用するようにすべきだと感じた。
女性	50～59歳	北九州地区	現在のコロナ禍に於いて、民間救急が 更なる重要な位置付けとなると思います。本当に救急搬送を必要とする 重篤患者の搬送が潤滑に遂行される為には 民間救急をより多くの国民に知ってもらい必要があり、民間救急を増やす必要があると思います。 民間救急に於いても 何が重篤で何が軽症であるのか、また 万が一 重篤な事態に急変した場合も考慮し さまざまな知識、技術の習得を求め 更なる厳しい医療現場を 各方面から 支えて行く必要性を感じます。
男性	30～39歳	筑豊地区	他の緊急走行車を選ぶことができる状況であれば、緊急走行車を選ぶと思う。病院間や社会福祉施設等の送迎であれば、民間救急が役に立つことは多いと思うが、きちんと情報伝達がなされているかが心配に思う。
女性	50～59歳	福岡地区	コロナウイルスで医療機関、救急搬送が逼迫している現状、民間救急の力は必要と思います。 1人1人の力が重なり人命救助できることを願います。
女性	30～39歳	北九州地区	いろんな取り組みがあるんだと思った。
男性	50～59歳	福岡地区	民間救急については認知度が低く、利用方法も知らないのが現状だと思うので、事業者が今より増えて更に認知度が上がれば進めば、利用者は増えると思います。 まずは広告宣伝等で認知度向上と救急医療の現状理解が急務だと思います。
男性	40～49歳	福岡地区	消防救急車でも起こり得る、搬送先がなかなか決まらない事象が、病院救急車だとクリアされると思うが、民家救急車が、どの様に搬送先を確保出来るのかが不安。
女性	40～49歳	福岡地区	民間救急車がある事により消防救急車や病院救急車の出動負担軽減の期待があるが、どれくらい認知されているのでしょうか?もっと認知度を上げるためにもCMなどを使い存在・主な連絡先等を知らせたりするといったのではないのでしょうか。有償との事ですが利用する立場になった場合、料金が高いと躊躇したり駄目だとわかっていても無償の消防救急車を使うことを選んでしまうかもしれないので料金も気になることです。
女性	30～39歳	福岡地区	利用方法について知りたい。
男性	40～49歳	福岡地区	どれほどのスキルがあるか分からないので利用するのに不安がある。また、一般の人にとっては費用がかかるか等が分からず不安を感じると思うので、広報などしていくことが必要と思う。
女性	70歳以上	福岡地区	とてもいい制度だと思う。ただ、一般に認知度はひくいので、利用の方法が知らされていないように思う。#7119ももっと知らせるべきです。
男性	30～39歳	筑後地区	民間救急のことを知らなかったため、他にも知らない人が多いのではないかと感じた。 民間救急を知っていても、救急車を呼ぶときは真っ先に思いつく「119」にかけるのではないかと感じる。
女性	60～69歳	福岡地区	最近、消防救急車の乱用が問題視されているが、目的や緊急度に応じて利用し分ける利用者の知恵も必要だと痛感する。自身としては、これまで家族が数回、ケアマネージャーの勧めで家族をストレッチャーで搬送してもらった時、専門知識を持った乗務員が適切で丁寧な対応で安心して好印象が持てた。今後、いざという時のため、民間救急についての具体的な利用法の説明や費用の見積りなどのことなど自治体からもさらに積極的に広報してもらえれば、と思う。
男性	70歳以上	筑後地区	有償だと、消防をつかうのでは。また、信頼性の面からも消防に連絡すると思う。
女性	30～39歳	北九州地区	民間救急という言葉、今回初めて知ることが出来た。
女性	30～39歳	福岡地区	どこに電話をしたらいいか分からない。どうゆう時に使用したらいいのか選択肢に入るように明確に知る機会があるといい。フリーペーパーなど。

性別	年代	地区	問 7
女性	40～49歳	福岡地区	民間救急も必要だと思います。救急車への負担が減る事はとても良いと思います。
男性	20～29歳	筑後地区	必要性のないケースでも救急車を呼んでしまう人の気持ちもわかる。万が一のことを考えれば自分の判断で家族の命は救えないかもしれないから。
女性	30～39歳	福岡地区	初めて存在を知りました。緊急性はないが自力での通院などが難しいときの利用にいいと思った
男性	40～49歳	北九州地区	消防救急が無料であるのに対して、民間救急が有料である限りは、個人が利用する可能性は低いと考えられる。かといって、一括で引き受けて、症状によって後から請求するようになると、本当に困った人が救急そのものの利用を控えるようになることが危惧される。 結局、民間であっても税金の補助がなければ、一般に利用が広がる可能性は低いだろう。もし仮に、民間救急に付加価値が付けば、富裕層の利用が見込めるが、富裕層だけが特別だという不満が出るので、現実的とは言えない。
男性	40～49歳	福岡地区	民間救急を増やす事で本当に必要な方に救命救急車、救命救急士が割り当てられるようにしてもらいたい。
女性	30～39歳	福岡地区	救命のための消防救急車なので、患者または発見者が119または7119に連絡して状況説明し消防救急が有料での民間救急かを連絡を受けた側が判断して本当に必要な人だけを消防救急車で搬送することで救命率の上昇につながりたいし回しなども起こりにくくなると思っています。
女性	20～29歳	福岡地区	緊急のときにすぐに来てくださったら心強いと思いました。
女性	40～49歳	福岡地区	福岡市内、北九州市内にはたくさん登録事業者がありそうだが、その他の市町村にはどのくらいの登録事業者がいるのかわからない。
女性	50～59歳	福岡地区	病院救急、民間救急ともに個人で依頼できるものではないと思っていました。緊急の場合消防救急車しかないと感じ込んでいました 勉強になりました
女性	20～29歳	福岡地区	あまり認知されていないと思います。 ですが、今回知ったので積極的に調べて利用しようと思います。
女性	50～59歳	福岡地区	どのくらいお金がかかるのかなど詳しい説明がないと、今の時点でも全くよくわからないので、知名度が低いのも納得できるといった。そちらをより推奨しようと思うならばメリットとデメリットの説明など、意義と価値をよく説明しないとけないと思う。
女性	50～59歳	北九州地区	実際に消防士、救急隊にも現場の実態を聞いていたので、内容により対応を分けることは、本当の意味での人命救助の近道になると思います。
男性	40～49歳	福岡地区	緊急走行が出来ないなく、有償なら使用しないと思う
男性	40～49歳	北九州地区	もっと広報を行い、民間救急の活動を周知したほうがよい。
女性	40～49歳	福岡地区	今、コロナで医療が逼迫しているので、民間の救急車を可能な限り使用できるようになればいいと思います。
男性	40～49歳	福岡地区	まだ、認知度が低いと思われるので、ぜひ、地下鉄や、スーパー、バスなどの広告、あるいは、市報で広めてほしい。
女性	18～19歳	北九州地区	とても素晴らしい事業なのに、認知度が低い上に利用されていないのではないかと感じている。現在、救急車が緊急出動出来ないなどが問題になっているが民間救急はこの問題の改善の糸口になると考える為もっと情報発信を行うべきだ。
男性	50～59歳	福岡地区	呼ぶときは緊急なので、病院に着けば何でもいいです。
女性	20～29歳	筑後地区	民間救急なるものが存在することを知らませんでした。 自身及び周囲の力のみで病院へ行けない場合は119番で救急車を呼ぶものと認識しておりました。 昨今の、感染症により様々な問題が起きておりそれが、救急搬送へ影響しているとの認識がありましたので、今後いざというときは民間救急を使用する手立てがあるということを知りたいと思っております。
女性	30～39歳	福岡地区	知らなかったし、どこへ電話をすればいいのかもさっぱり。でも救急車を呼ぶには気が引ける、本当に救急車を必要とする人に使って欲しいので、もっと民間のことが広がればいいなと思います。
男性	30～39歳	北九州地区	119番通報の安易な利用は社会問題にもなっているので、認識しているが、普段利用数機会がほとんどないのでどの程度なら119番通報しても問題ないのか悩んでしまうのが正直なところだ。 例えば、自分自身でなく路上で気分が悪くなっている人を見かけた場合など。 119番のあと、不急の場合は他に転送できる仕組みがあってもいいかと思えます。
男性	30～39歳	福岡地区	必要な際、緊急性のあまり高い場合には利用を考えたいです。
男性	20～29歳	福岡地区	客観的には軽症であったとしても、患者本人はパニック状態で重症と思い込んでおり、緊急走行できない民間救急が選ばれにくいという状況が生まれそうだと思います。
男性	60～69歳	福岡地区	福岡に、どのくらいの民間救急業者があるのか、届出制あるいは認可制なのか、使用時の料金設定を知りたいと思いました。
女性	18～19歳	筑豊地区	救急車に、消防救急車、病院救急車、民間救急車の三種類もあることを知らなかった。 そのため、私のように消防救急車しか知らない人の多くが何か緊急なことが起きたらとりあえず119に連絡するという人が多いのではないかと感じる。だからまずは病院救急車や民間救急車などを広めることが大切なのではないかと感じた。
女性	40～49歳	北九州地区	知れば救急搬送は少なくなるのではないかと感じます。 そもそも救急搬送がそんなに多いとは思っていませんでした。 県が発信するより、ニュースなどの特集とかでこのような情報を伝えてもらいたいです。 とはいえ、コロナ禍よりTVをみなくなり、情報収集はSNSになりましたので、インスタグラムなどで福岡県民ガイドみたいな形で1日1件配信してもらいたいです（楽しくわかりやすく見られるような感じで）
男性	40～49歳	福岡地区	消防救急車の負担を下げるため、学校や大学、病院、保健所などでPRを行い、もう少し認知度を上げるべきだと思います。
女性	30～39歳	福岡地区	民間救急について全く知らなかったので、もっと広めて欲しい。有償とあるが、どの程度の費用が必要になるのか。
女性	50～59歳	筑後地区	昨今は、コロナでの救急搬送での利用が増えていると感じている。 民間で動いてくれる事は心強い。
女性	20～29歳	北九州地区	民間救急は有償であることと、赤色灯が無いので緊急時に急ぐことができないということから、どのような方がどのような判断で利用されているのか気になりました。
男性	40～49歳	福岡地区	県がこれから民間救急を推すの動きになると感じます。あまりいい意味でない感じがする。
女性	50～59歳	北九州地区	病院や、介護事業所でのポスターやお知らせパンフや県民便り等の広く周知したら良いと思います。
女性	30～39歳	北九州地区	軽症者が救急車を利用し本来の利用者に行き届かない件については、ニュースなどで聞いたことがあり、大したことのない用で呼ぶようなケースには憤りを感じるが、その様な人たちがじゃあ「民間救急車があるならそちらを利用しよう」ということにはならない気がする。緊急でない場合に、どのような人たちがどんな目的で簡単に救急車を呼んでいるのかわからないので何とも言えないが、もし本当に必要な人たちが増えてひっ迫するのであればそこは税金を投入するしか仕方がないと思う。理由ごとにほかに回せそうなのであれば、民間救急車含め他の手段を検討すればいいと思う。
女性	20～29歳	福岡地区	各家庭にどのような症状の時に救急車を呼ぶかなど対応をまとめた冊子があればと思った
女性	18～19歳	福岡地区	#7119を知っていれば医療機関に無駄な負担を掛けずに済む場合が増えるので、もっと県民に知らせるべきだと思う。
男性	30～39歳	筑豊地区	あまり知られていないイメージがあります。民間救急を知っていれば不要な消防救急を減らせるのではないかと感じました。民間救急についてももっと認知が広がり、活用されることを願います。
女性	70歳以上	福岡地区	民間救急の活動は、コロナ禍の中テレビ等ニュースで一番活動を見聞きする、緊急時不安の中救助求める者に関しては救急車の存在や働きをもっと知って貰う事も大切かと思えます。一般市民に理解してもらおう事に関して民間救急が緊急時に赤色灯やサイレンが無く走行が出来ない搬送は意味がないように思えます。市民が安心して利用出来る車両であって今後を期待しています。

性別	年代	地区	問7
女性	30～39歳	筑後地区	民間救急というものがあることを知らなかったのですが、周りの人もきっと知らない人が多いと思うので、CMとかでも広く認知されるようにしたほうが良いと感じた。特にいまのコロナ禍では必要と感じる。
女性	30～39歳	筑後地区	救急搬送24万件のうち軽症の方が4万3千件というのは率直に驚きました。ニュースなどで、正しい救急車の利用を呼びかけているのは見聞きしますが、実際に救急車を呼ぶか迷う場面では正しい判断がつかない事も多いと思います。知り合いの看護師は普段緊急対応をしているにも関わらず、子供が痙攣を起こした時にはいつものように動けなかった、と話していて、プロの人でも慌てる状況は意外と身近にあるのかと。民間救急を利用する対象は、ストレッチャーを利用して医療処置の必要性などを思い浮かべますが、当事者や家族は高齢となることも多いと思います。車椅子利用者や要介護者には、急変時に民間救急という選択肢があることを周知し、フローチャートなどでその場で判断できる方法があると思います。また、料金の面はとて大変だと思います。この度、近くの民間救急について調べましたが、1度病院に運んでもらうのに数千円ということでした。要介護認定を受けている方、障害者手帳を所有している方など、助成してもらえるなど、支援があれば安心して使えると思うが、普段から介護などに接しておらず、民間救急を利用を検討する場面では、料金を考えて利用しないという選択をする人も多いのではないかと感じます。以前、働いていた病院で転院について話を進めた際、車椅子移動が必須の方でしたが、ご家族が介護タクシー一代が払えないということで、無理矢理抱えて自家用車に乗って転院された方がいました。訪問看護で訪れた利用者の方は、ティッシュ1枚を使うにも確認をしないといけない方がいたり、料金面は利用するのに大きな点だと思います。
女性	40～49歳	筑後地区	必要な資格を持っていること、安全に利用できること、料金等を十分に説明、周知すれば、確実に利用者が増え、社会にも必要とされたいと思います。
男性	50～59歳	福岡地区	知らない市民の方が多いと思うので、認知させるための広告を増やす必要があるように思います。勿論、連絡先も認知させる必要があると思います。意味がわかって、いざ利用しようというとき連絡先が分からないとなると救急車を呼ぶ事になってしまう為。各家庭の冷蔵庫にマグネットで貼る方法もいいかもしれません。
男性	20～29歳	筑豊地区	いろんな機能を民間も担うことができるのは、とても良いことだと思う
女性	70歳以上	筑後地区	詳細はあまりわからなかったのですが、この設問で参考になりました。もっとメリット・デメリットなどが広報誌などで紹介されれば良いと思う。
男性	30～39歳	福岡地区	消防救急があるので民間救急を使用を考えたことがない。消防救急は実際にお金がかかるのかもしれないが無料ですぐ来てくれるイメージだ。逆に民間救急の場合、お金がかかり規模も消防救急に比べ小さいはずなので比べるとすぐ駆けつけてくれないのではないかと。また、前もって準備しておかなければ気が動転している時にすぐ電話できない。消防救急でさえ電話番号を考えるくらいだから。そういったイメージを払拭しなければ民間救急が一般人に浸透していくのは難しいのではないかと。
女性	40～49歳	北九州地区	コロナ感染者が増える中で、需要が増えたいと思う。
女性	40～49歳	筑後地区	まだ緊急電話相談窓口がなかった頃、長女が熱が出て、病院に行ったほうがいいのか解熱剤で対応した方がいいのかわからなかったとき、久留米の聖マリア病院に電話して聞いたところ、解熱剤でいいと教えて頂き、その通りにするとすぐ治りました。このように、どうしていいかわからないなどのため救急車を呼ぶ人もいるので、広く緊急電話相談窓口や民間救急等をひろめ、軽度等の場合は救急車を使わないように他の方法(民間救急等)を伝えていってはどうでしょうか？
男性	70歳以上	福岡地区	救急電話相談(7119)の存在も含め公民館などで講習会を開催して住民に内容を理解出来るようにする
女性	20～29歳	福岡地区	軽症の人が救急車を利用して、重症の人が助からないことがあるとニュースでみたことがあります。軽症の人が民間救急の存在を知っていれば、重症の人も助かったかもしれません。私は医療事務で働いていますが、恥ずかしながら、初めて民間救急という存在を知りました。それほど認知されていないということではないでしょうか。多くの人に民間救急を知ってもらい、民間救急を利用しやすくなってほしいと思います。
女性	60～69歳	福岡地区	民間救急があることを初めて知りました。もしかしら聞いたことがあったのかもしれませんが、生活に馴染んでおらず、生活の中で認識していませんでした。救急車を呼ぶほどではないが、自家用車で通院(受診)するには不安が大きい。といった場合には、本当に心強いと思います。ただ、通常の救急車の使用が適切でないことも多いと聞きますので、民間救急だと尚更軽い気持ちで利用されそうで心配です。
女性	30～39歳	福岡地区	どのような方が担っているのか、どんなものなのか初めて聞いたので想像が付きません
女性	18～19歳	福岡地区	民間救急は私のような学生の認知度は低いと考える。救急車を安易に呼ぶというポスターはよく見るが、それ以上の知識を救急車について持っていないためより多くの知識の普及が必要だと考える。特に、小学生くらいの年頃の子に教えておくことが大事だと考える。民間救急車を今回のアンケートで初めて知ったが、とても素晴らしいものだと考える。日本の救急車の制度は良いものだと考えるため、それらを持続させるためにも適切な行動を行えるようにしたい。
女性	18～19歳	筑豊地区	利用する人の多くは経済的に大きな余裕がある人ではないと考えるので、本当に必要とする人達に有償でなく無償で行ってほしい。
男性	50～59歳	福岡地区	民間救急と言うのがあった事知らなかった。もっと、県民に周知して利用できるようにならなると良いと思った。
女性	30～39歳	福岡地区	民間救急の車を一度だけ見たことがあるが、どういう人が乗るのか疑問に思ったままだった。今回のアンケートで利用の仕方を知った。
女性	50～59歳	北九州地区	民間救急の存在はテレビ等で目にしたことはあるが、どこに連絡をしていいのかわからない、どのようなサービスがあるのか内容までは知らない。いざという時のために必要な存在と思うが、いざとなれば119に電話してしまうかもしれない。しかしながら、小・中・高校や大学など若いうちから授業の一環として「救急」の在り方を知る機会があれば、年齢を重ねても民間救急に馴染めたいかもしれない。「税金を払っているのだから、消防署の救急車を使わなくては損」という意識は少なからずある。まずはその意識を変える必要があると思われる。
女性	20～29歳	福岡地区	軽度の体調不良の方が、救急車を利用しているという事例を何度か聞いたことがあるので(足が悪くて自分で病院へ行けないので救急車を呼ぶなど)、民間救急の存在をたくさんの方に知ってもらい、救急車が適正に利用されてほしいと思います。
女性	50～59歳	北九州地区	救急車に自分も周りの人もお世話になったことがある身としてはあの切羽詰まった緊急の時に、タクシー代わりに利用する人や、寂しいから利用する人のために出勤が遅れることを知ったとき本当に憤りや危機感を感じました。民間救急は私も知らなかったのですが、これが周知されたらずいぶん適材適所が進むのではないかなと思います。もっと詳しく知りたいと思いましたが、このようなきっかけがないとなかなか知ることが出来なかったなとも思います。
男性	20～29歳	北九州地区	医療設備等をもつ有償の搬送サービスがあるというのは初めて知りました。よく聞くのは、救急車が使えない時に代わりにタクシーを使った等という話ですが、こういうサービスがあるなら利用したい人もたくさんいるのではと思いました。
男性	30～39歳	福岡地区	名前のみ先走り内容ができていない気がしますが、民間救急の内容を周知する事が必要ではないかと、特に高齢世帯や持病がある方は病院や福祉事業所からの説明があったらいいと思います。
女性	40～49歳	北九州地区	民間救急のことは、今回詳しく知りました。患者など、搬送する際にも車椅子のまま大丈夫だと知り、今後の親の事とか考えると、少し安心しました。
女性	50～59歳	福岡地区	多くの人に知ってもらうよう広報を工夫してほしい
女性	50～59歳	福岡地区	救命講習の過程を経た救急士でも、民間の救急隊は信頼を100%おけないような不安な気がする。
女性	20～29歳	筑豊地区	本当に救急車を必要とする方に手配でき、重症でなくても安心して呼べるので、ぜひ導入すべきと感じました。一方で有償とありますが、住民の負担ではなく、税金からでしょうか。住民負担なら節約で民間でなく消防救急を利用しそうですし、公費負担ならタクシー代わりにされる可能性もあり、難しい所だなと感じました。
男性	40～49歳	筑豊地区	ケースByケースでの利用方法を行政で示して欲しい。また、低所得者が民間救急で料金発生した場合等の援護策等も考えての使い分けの検討の余地があるのではないかと感じる。

性別	年代	地区	問7
女性	40～49歳	福岡地区	消防署の前を通ると消防車はいるのに救急車はいつもいないし、毎日救急車のサイレンを聞くので本当に必要の無い人が救急車を呼んでいるのだと実感します。救命救急士の負担もすごいし、今はコロナ渦で感染の危機に常にさらされていると思うので困ったときは救急電話相談等を利用し、不必要な119は控えたいと思います。
女性	50～59歳	福岡地区	#119消防救急車への依頼は全て、#7119に転送するシステムを早急に整えた方が良いと感じた。転送後に内容を聞き、消防救急車、病院救急車、民間救急車、タクシー会社の電話番号を伝えるなど、指示・助言したほうが良い。なぜなら、脳卒中など、一分一秒を争う患者もいるからだ。
男性	30～39歳	福岡地区	軽症者が救急車をタクシー代わりに使用している現状を知っている。本当に必要な患者の為の物として広く周知していかなければならない。全国に先駆けて福岡県で民間救急を普及させてほしい。
女性	40～49歳	福岡地区	消防救急車を利用したことがあります。家族が倒れたので呼んだのですが、命には別状ないとのことでした。その際、遠回しに緊急性がある場合にのみ利用するよう言われました。素人には判断が付かず困惑しました。消防か民間かの通報基準を誰もが理解できるよう明確にすべきだと思います。高齢化対策として搬送先の確保も含め、早急に取り組むべき課題だと感じます。
男性	30～39歳	福岡地区	利用が推奨される状況、メリットやデメリット、利用方法など詳細を知りたいとかんじた